
人生の扉。

はぴ子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人生の扉。

【Nコード】

N94310

【作者名】

はぴ子

【あらすじ】

扉。人生において沢山ある扉。

開けるか開けないかはあなた次第。

開けて幸せになるか、不幸になるか。

それもあなた次第。

(前書き)

何かに迷った。

そんな時こそ気楽にいきまいしょう

僕はどうしても扉を開けたい。

絶対にあけるな、と言われてる扉を開けてみたいんだ。

「ねえ、この扉の向こうは何なの？」

「さあね、お母さんもわからないな」

嘘ばかり。お母さんはこの家に30年以上前から住んでいる。

その家にこの扉があるんだ。知らないはずがない。

「でも絶対に開けてはいけないからね」

お母さんの言葉が追加される。

僕がこの扉を見つけたのは、友達とサッカーをしたくてボールを探しに押し入れによじのぼった時のこと。布団の隙間からさびた金色っぽいものが見えた。布団を掻き分けてみると、それは1メートルくらいの大きさの小さな扉だった。

どうしてもその時開けなかったかって？

僕はとても臆病ものなんだ。

ビビりってやつ。

あと3分で試合が始まる。でもトイレに行きたい。3分じゃ間に合わないかもしれない。

どうしよう。もれそうだ。でも遅れたら・・・結局行かないで長い3分を過ごしながら「余裕でトイレ行けたな」と後悔するようない、どうしようもない奴。でも皆もこういう経験あるでしょう？

僕は決めたんだ。

今日こそはその扉を開け、その向こうはどうなっているのかを知る

んだ。

この決断をするまでに5年かかった。僕が扉を見つけたのは5年前だから。

お母さんがいない。よし。

開けるぞ。大丈夫。変なものは出ないさ。大丈夫。

そつと手を扉のドアノブにのばす。

「ガチャン!!」

「うわああああ」

「何そんな大きな声出してんの。うるさいね。山に出すぞチンチクリンめがあ」

お母さんか。僕の洗濯物を干してきたんだ。まったくタイミングが悪い。スーパーに行ってもタイムセールが終わった直後で「何もない!」と機嫌を損ねて帰ってくるんだ。まったくタイミングが悪い。

そんなことはどうでもいいんだ。

よし。今度こそは。

手をのばす。ドアノブに触れる。

「ヒヤッ」

意外と冷たくてビックリした。

僕は本当に臆病ものだ。

開けようとしてからもう30分も経っている。

よし。いくぞ。

手をのばす。ドアノブに触れる。

ドアノブをまわす。

「ガチャ」

目を閉じ、そしてゆっくり開ける。

いつもと変わらない風景。
鍵がかかっていた。

はあ。なんだよ。鍵がかかっているのか……。
鍵を探さなくちゃな。

この扉を開けるのはまだ先になりそうだ。

知られざる扉の真実を知るのはいつになるのだろうか。

知りたくても知ることのできない真実。

たとえ誰かに真実を聞いたとしても自分の目で見ない限りこの扉の
真実は解明されないだろう。

世の中には知らないほうが幸せな真実もある。

この扉はどのようなだろうか。

その選択をするのは他の誰でもない。あなただ。

今すぐ開けてもいい。

何年後かに開けてもいい。

一生開けなくてもいい。

どれを選んでもあなたの人生なのだから。

(後書き)

ありがとうございました。

さああなたは開けますか？

私は2年後に開けたいと思います。

感想、一言でもよろしいのでいただければ幸いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9431o/>

人生の扉。

2010年11月16日01時21分発行